



あとがき

はじめて南阿蘇村を訪れたのは、

熊本地震から半月後の2016年5月でした。

震災直後の大変な状況でも、阿蘇山の雄大な景色、
こんこんと湧く豊かな水源、体も心もほっとする温泉、
そして温かくて元気な村の人たちに、

私のほうが元気をもらいました。

その時に南阿蘇村は生きる力が強い土地だと思い、
「ここなら何があつても生きていける」。
直感的にそう感じました。

朝起きて眺める阿蘇山の景色に毎日飽きることはなく、
日々暮らしの営みの中で出会う人たちとのふれあいは、
かけがえがないものです。

「南阿蘇村で暮らす人たちは、生き生きとしている」。
取材をしていて思うのは、出会う人、出会う人

魅力的な人ばかりだということ。

先人から守り継がれてきたこの美しい土地と暮らす人々は、

豊かな助け合いの心が育まれます。

「自分らしくられる場所」。

観光だけでは味わえない暮らしの中での体験をぜひ南阿蘇村で。

でもひとつ気をつけてくださいね、
訪れたら南阿蘇村に魅了されてしまうかも知れません。

—2020年12月発行—

(発行) 南阿蘇村役場 政策企画課

(制作・印刷) 株式会社 城野印刷所

(撮影・編集) 南阿蘇村地域おこし協力隊 五十嵐恵美

